



TOKUSHIMA
NATIONAL HOSPITAL

徳島病院だより

独立行政法人国立病院機構 徳島病院

四国神経筋センター

第59号

Summer, 2023



【潜水艦】 東野 文男

基本理念 私たちは、病気を持つ人々の立場に立った安全かつ良質な医療を提供します

- 虐待防止研修を受講して
- MRI装置の更新をしました
- 災害時避難訓練
- 徳島県在宅重症難病患者
非常用発電機配備点検業務とは？
- 看護の日
- 医療安全研修について
- もし、あなたや大切な家族が
食べられなくなったら？
- 病院の設備整備の充実
- 「七五三だヨ！全員集合！」
- 人生の節目を祝う会を実施しています
- ～あじさい咲きました～
- 七夕飾り
- ファイヤーストーム

徳島病院の診療機能

- **一般医療** 地域医療に貢献します
 - ◎内科 ◎外科
 - ◎消化器内科 ◎整形外科/リハビリテーション科
 - ◎脳神経内科 ◎放射線科
- **神経・筋センター** 神経・筋疾患の四国の基幹施設です
 - ◎筋ジストロフィー
 - ◎パーキンソン病・神経変性疾患
- **総合リハビリテーションセンター**
 - 多種の疾患に対応して参ります
 - ◎ロボットリハビリテーション
- **スポーツ医学センター**
 - スポーツによる運動器障害全般です
- **臨床研究部**
 - 四国で唯一の神経・筋領域の研究部です

虐待防止研修を受講して

管理課長 山崎 理志

2023年6月27日に香川大学教育学部 特別支援領域の坂井 聡 教授をお招きして管理者向けの虐待防止研修を開催しました。

医療機関だけでなく、介護施設、福祉施設、家庭において起こった虐待に関するニュースを耳にすることが多くなり、世間の注目もあるなか、ご家族からの見る目もますます厳しくなっているように感じています。

徳島病院は、主に神経・筋疾患を中心とした医療の提供を担っておりますが、スタッフは患者さんとのコミュニケーションの取り方に悩みながらケアを行っています。

坂井先生の講義は、スライドや動画を用いた説明だけでなく、参加者に質問し、考え方を求めるなどして進んでいったため、その答えが分かる「はっ!」と気づかされる場面や「なるほど」と思うことばかりでした。

最後に宿題として頂いた「リフレーミング」は、その人の見方によって、相手のことが否定的に見えることや、逆に肯定的な言葉に置き換えることができることを学びました。

身体拘束にもふれて頂き、心に残る素晴らしい講義でした。

アンケートの結果も好評で管理者だけでなく、虐待防止に取り組んでいるグループにとってもとても有意義な研修でした。

今後は、学んだことを実際にケアにあたるスタッフに伝え、そして、虐待防止・身体拘束適正化部会で取り組んでいる課題の解決に活かしていきます。



MRI装置の更新をしました

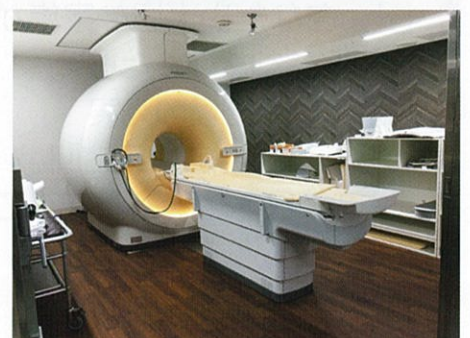
放射線技師 逢澤 歩

当院は令和5年7月にPhilips社製Ingenia 1.5T CXにMRI装置を更新しました。

この装置の特徴は、信号の伝達がアナログ・デジタル混合型からフルデジタル化したことによって以前より高画質・高精細の画像を得ながら、検査時間を短縮することが可能となっています。

また、AIが撮像設定を学習することによって、設定にかかっていた検査時間を短縮できることや、装置についているLED照明によって装置内でも明るい状態で検査を受けることができるといった特徴もあり、診断能の向上と検査時の負荷の低減を両立できる装置となっております。

放射線科技師一同、新しくなった装置の機能を最大限に活用し、患者さんに安全に安心して検査を受けていただきながら、診断の役に立つ画像の撮像に鋭意努めて参りますのでよろしくお願いいたします。



災害時避難訓練

MSW 津川 靖弘



令和5年3月に吉野川保健所主催で行われた、在宅人工呼吸器装着患者さんの災害時避難訓練に参加させていただきました。まず、午前【災害用伝言ダイヤル171】の再生と録音訓練を行いました。内容は家族の安否を知らせる伝言を電話で確認した後、当院の状況を録音して確認してもらうというものでした。他にも、家族を中心に在宅支援チームと保健所はLINEを用いて連絡を取り合い、スムーズな安否確認を行っているのを見てこうしたツールを用いるのは効果的であると実感しました。午後には支援者が自宅に集合し、実際の災害発生を想定して安全の確保や電話連絡、発電機の作動を行いました。安全の確保で使用した本人頭部を守る為の小テーブルがベッドに合わなかったり、発電機と繋ぐ医療機器が多数に渡り混乱したため、限られた電力をどこに使用するか事前に整理しておく事が必要だと感じました。最後に全体で振り返りを行い、さらに蓄電池を追加して準備する事や一次避難として最寄りの中学校に行った場合の配慮などが話し合われ、徳島病院でもこうした避難の状況を踏まえつつ準備していく必要があると感じました。

徳島県在宅重症難病患者非常用発電機配備点検業務とは？

経営企画室長 阿佐 慎治

徳島病院は、徳島県より「重症難病患者拠点・協力病院設備整備事業」として、徳島県在宅重症難病患者非常用発電機配備点検業務の委託を受けています。

これは徳島県内におられる在宅の重症難病患者へ非常用発電機を貸出・配備することです。対象者は、徳島県内に住所地があり在宅でおられる指定難病、小児慢性特定疾病の方で、常時人工呼吸器を使用しているなどの基準があり、対象者の同意・申請のうえかかりつけ医療機関から申請書等を提出頂き徳島病院において審査を行っています。



また、貸し出した発電機については、2年間毎に無償でメンテナンスを実施するところがあります。この非常用発電機の配備からメンテナンスを徳島病院が一元管理のもと行っています。

災害時に電気が止まり在宅において人工呼吸器が使用できなくなった場合に、この非常用発電機が役に立つところです。これにより人工呼吸器が使用できるようになった時間内に救援救助を求めたり災害時受入医療機関へ移動することができます。

徳島病院からは現在まで非常用発電機16台を配備しており、今後県内の全ての必要とされる方へ配備していく予定です。



徳島病院は筋ジストロフィー、神経・筋の難病患者を中心とした医療を提供しています。徳島県災害医療支援病院の指定を受けており、災害時には在宅難病患者を可能な限り受け入れる予定としています。このような体制の元、この徳島県在宅重症難病患者非常用発電機配備点検業務は当院のすべき事業の一つではないかと思っております。

看護の日

看護師長 戸梶 敦子

5月12日は近代看護教育の母フローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。

日本では21世紀の高齢社会を支えていくために看護の心、ケアの心、助け合いの心を分かり合うことが必要と考えられ、1990年、厚生省(現:厚生労働省)により5月12日を「看護の日」と制定されました。

当院では研修棟で看護の日イベントを開催しました。コロナ禍前は公民館で一般の方々にお越しいただき血压測定等を行うイベントでしたが、今年度はコロナ感染拡大を懸念しポスター掲示のみと致しました。

各部署のスタッフが写真やイラストを用いて創意工夫を凝らしたポスターを作製し、来訪された患者さん、ご家族、その他当院多職種に各部署の看護の実際や特徴を知っていただく機会となりました。

イベント後もしばらくポスターを外来に展示し、外来患者さん・ご家族にも閲覧頂けるようにしました。

来年度以降も多くの方にお越しいただき、当院の看護の魅力をより一層伝えられるイベントにしていきたいと考えております。



医療安全研修について

医療安全管理係長 伊藤 奈美

医療安全管理室は、病院の安全管理を担う部署です。安全な医療の提供は医療の基本であり、医療安全は医療の質に関わる重要な課題です。医療安全管理室では、医療における安全管理のための基本的な考え方や方法について職員に周知することを目的に年2回研修を行っています。今年度は「安全確認行為」をテーマに全職員対象に研修を実施しました。医療従事者にとって、確認は患者さんの安全な医療の提供に直結する行為です。確認行為にはたくさんの方がありますが、一例として指差呼称(確認するものを指差し、声に出して確認する方法)、確認会話(患者氏名の確認、職員間のコミュニケーションにおける確認など)、ダブルチェックがあります。これらの確認行為は、正しい方法で実施することで、より精度の高い確認へと結びつきます。研修を通して、日頃実施している確認行為を振り返り、より安全安心な医療に繋がられるよう取り組んでまいります。

確認不足に関連するエラーが減少しないのはなぜか

人間の特性が大きな影響する

人間の特性とは

① 粗筋 思い込み・勘違い	② 不注意 うっかり・ぼんやり
④ 慣り 先を急ぐ・バニニック	③ 省略行為 慣れ・横着

人間の特性は、確認行動を不十分にする原因になる

1) 指差し呼称

「一人ダブルチェック」と言われるべき確認行動

指差し呼称の効果

- ① 注意の集中化
- ② 行為の意識化
- ③ 行為の記憶化
- ④ 行為の簡便化

※状況によっては換機反応や無意識的な習慣的動作の抑制

指差し呼称自体が、無意識的な習慣的動作(いわゆる儀式)にならないよう、実践のこそぞという局面に限ることが必要

「新たな心的空間」創設は、「慣習伝達」のミス

確認事項を確認し、声に出す

確認事項を確認し、声に出す

確認事項を確認し、声に出す

確認会話が実践できる環境作り

確認会話が定着するためには、その重要性を組織全体で認識し、コミュニケーションのよい職場風土を作り上げることが大切

- 患者さんに明るく挨拶を交わす
- 職員間で明るく挨拶を交わす
- 自分から名乗る
- 実施前に患者の氏名を確認する

医療安全管理マニュアル(確認会話)より

もし、あなたや大切な家族が食べられなくなったら？

鴨島公民館健康セミナー（令和5年5月19日）にて

摂食嚥下障害看護認定看護師 寺尾 聡子



食べることは、人間の根源的な欲求ですが、病気や加齢により難しくなります。食えることが難しくなった場合の水分・栄養摂取方法として、血管から水分や栄養を補給する点滴と、腸を使い水分・栄養を補給する経管栄養の2つがあります。腸を使うほうが、免疫が保たれるため体に優しいのですが、患者さんによって、どちらが適するかは違います。



また、経管栄養には、鼻から管を入れる方法（経鼻胃管）と、胃に直接入り口を作る胃ろうがあります。「胃ろうは嫌」と、経鼻胃管を選ぶことがありますが、不快感から本人が栄養剤の注入中に管を抜いてしまうことがあります。嚥下障害や意識障害がある場合、管の入れ替えに苦労します。本来、経鼻胃管は短期間のみ行う方法です。



しかし、胃ろうも経鼻胃管も、どちらも強制的に水分と栄養を注入する方法です。「胃ろうや点滴も何もしないで、自然の経過に任せる」という選択もあります。

実際に食べられなくなった時に、本人の意思が分かることは重要です。本人の意思が分からない場合は、周囲がとても困ることがあるからです。お盆の帰省時など、家族が集まる機会に一度このようなお話をされてはいかがでしょうか。

病院の設備整備の充実

企画課長 島村 嘉人

当院は現在、液化酸素タンク・吸引ポンプの更新工事に着手し、来年1月末に完成予定で工事を進めています。今後はボイラー設備更新や自家発電機用地下タンク新設も計画しており、病院にご来院されてもほぼ見ることがない設備ですが、病院にとっては、非常に大切な設備の若返りを図っているところです。

また、診療に関することでは、MRIの更新を完了し、CTも今秋更新予定で計画を進めています。



以前の機器と比較し、検査画像も良くなり、検査時間も短縮することができるようになります。

筋ジス病棟（すみれ病棟）の設備については、自家発電機の改修、スプリンクラー設置、空調設備の更新を行います。これらは院内生活を送るうえで、欠かせない設備となります。

以上、病院では、安全かつ良質な医療を提供するため、設備整備の充実も進めていきます。

（液化酸素タンク更新工事の状況）

「七五三だヨ!全員集合!」を開催しました!

保育士 藤田 瑞稀

すがすがしさを感じる季節になった5月に、3歳と5歳を迎えた3名の児童の七五三を祝う行事を行いました。成長を振り返ることができる手形の花束や居室を装飾するフラッグの作製、記念品の製作活動や抱負の発表などを行いました。今回、ご家族の方には、リモートにて行事を見守って頂くかたちで参加していただきました。行事終了後には、児童、ご家族、職員で記念撮影を行いました。オンラインと会場を併用したハイブリットでの行事が開催できました。



人生の節目を祝う会を実施しています

保育士 藤田 瑞稀

6月15日人生の節目を祝う会を行いました。今回は、半世紀祝い(50歳)、喜寿祝い(77歳)、傘寿祝い(80歳)を行いました。ご家族にもメッセージをいただき、患者さんや職員で盛大にお祝いする事ができました。記念品には、手作り花束、病棟看護師、療育指導室職員からのメッセージの花束をお渡しさせていただきました。

今年度は、他にW成人式(40歳)、還暦(60歳)、古希(70歳)、米寿(88歳)のお祝いも予定しています。人生のターニングポイントにもなり得る、人生の節目の年をこれからも大切に、一緒にお祝いさせて頂けたら嬉しいと思っています。



～あじさい咲きました～

内科医長 柏木 節子

病棟の窓から見えるように、駐車場の縁に植えたあじさいが、今年はたくさん咲きました。毎年、少しずつ品種を増やしています。

今年のあじさいはもう終わりましたが、来年もきっと新しく咲いてくれると思います。頑張って手入れを続けますので、どうぞ楽しみにお待ち下さい。



七夕飾り

看護師長 常陸 多佳子



夏の行事の一つでもある七夕。院内のあちらこちらで飾り付けが行われていました。

七夕は奈良・平安時代に古代中国から日本に伝わったとされており、貴族たちの間で「芸事の上達」を願う宮中行事になったとされています。当時は供え物をしたり、里芋の葉にたまった夜露を集め、墨を摺って梶の葉に歌を書いたりしたことが、現在の笹飾りの原型といわれています。

諸説ありますが、一般的なお話では、中国の七夕の伝説として、はた織りが上手な神様の娘「織女」と働き者の牛飼いである「牽牛」は恋人同士で働きものでした。2人は結婚し、結婚後は楽しい日が続いたため、遊んで暮らしていましたがこれに激怒した神様は天の川の両端に2人を引き離しました。悲しみのあまり元気をなくした2人を見かねた神様が、真面目に働くのであれば「一年に一度だけ会える日」を7月7日をとし再会を許しましたというものです。

夏の夜東の空を見上げると、3つの明るい星が見られます。「夏の大三角」にあるベガ「織り姫」とアルタイル「ひこ星」が輝くように、院内の七夕飾りも輝いていました。それをご覧になられた患者さん、ご家族の方の笑顔も輝いておられました。



ファイヤーストーム

保育士 中 若奈

毎年、患者会(青筍会)と当院が協力して実施してきた夏祭り「ファイヤーストーム」がコロナ禍による数年の中止を経て、8月4日(金)に再開することができました。

例年はデイケア棟と中庭を利用した1年で最も大規模の行事ですが、再開初年度である今年は、お好み焼き、焼きそば、ドーナツ、デザート、飲料、わたがし、アイスクリーム等の屋台をデリバリー方式に準備し、医師、看護部、事務部、その他コメディカルのスタッフの協力を得て、療養介護病棟(すみれ病棟、1階病棟)を巡りました。巡回の後は、中庭で披露していただく「きらく連」による阿波踊り。車椅子乗車されている方は中庭が見える病棟内から鑑賞し、居室におられる方は同時中継で生放送し、みなさんに徳島の夏の風物詩を堪能していただきました。阿波踊りの公演時には、一般病棟の患者さんや他部署の応援スタッフも鑑賞され、みなさんが表情豊かに、拍子をとりながら見入っておられました。最近の入院生活ではなかなかできなかった外部のイベントを院内で体験する機会や院内で働くさまざまなスタッフとの交流の機会を設けることができ、季節感を味わえる行事となりました。

室内開催という当初の計画通りとはいきませんでした。行事中には涙を浮かべて喜んでくださる姿や「こんな何年振り」「お好み焼きが美味しかった」「夏が味わえた～」などと感想を聞かせていただき、私たちスタッフも感動の1日になりました。

また、翌週からは3種のゲーム屋台を準備してベッドサイドを巡り、夏祭り恒例で楽しんできたゲームを職員や同室者で行い、にぎやかな時間を過ごしました。次年度は、患者さんの希望通り、さらに例年の「ファイヤーストーム」に近づけ、楽しいひと時を届けられる行事にできるよう、患者会(青筍会)と協力して企画していきたいと思っております!!



外来診療案内

令和5年9月1日現在

診療科	月	火	水	木	金
内科	木村	齋藤	柏木	倉橋	足立
消化器内科	木村		柏木		
脳神経内科		三ツ井	高原	三ツ井	谷口
外科					大畑
整形外科			※1		
リハビリテーション科			高田※1		
放射線科	岡田				
外来リハビリテーション	高田	高田	高田※1	高田	高田
専門外来	スポーツ整形外来 (午後)	岩瀬(毅)※2		岩瀬(毅)・岩瀬(穰) (予約のみ)※3	
専門外来・予約制	糖尿病外来			倉橋 (午前)	
	筋ジストロフィー外来(小児科)	近藤(秀)・宮崎・渡邊			
	筋ジストロフィー外来(成人)				
	パーキンソン病専門外来	三ツ井	高原	三ツ井	谷口
	物忘れ外来	三ツ井	高原	三ツ井	谷口
	禁煙外来				足立
	セカンドオピニオン外来 (脳神経内科)	脳神経内科医師			

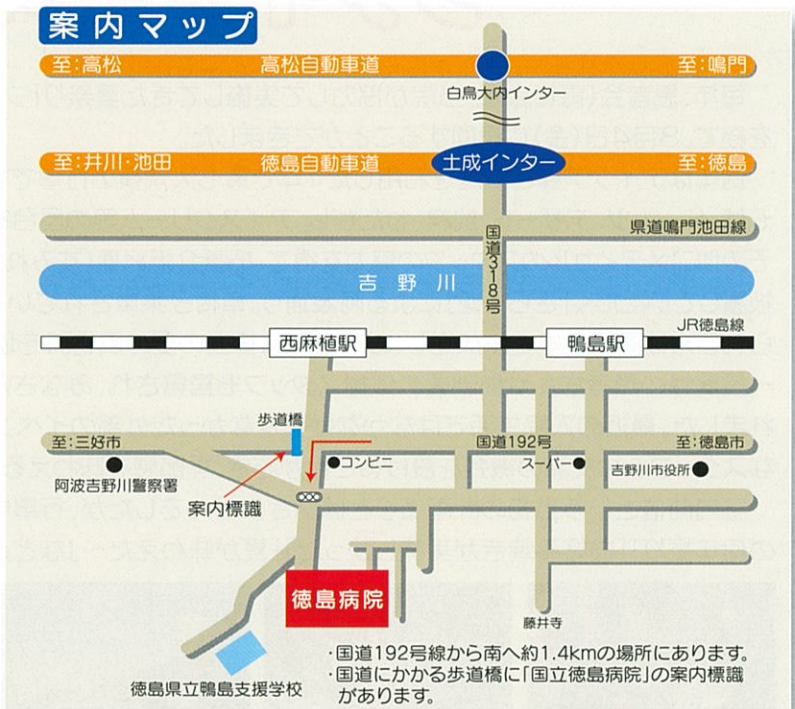
※1 整形外科を受診希望の場合は、リハビリテーション科(水曜日)を受診してください。外来リハビリテーション水曜日午前以外の診察日は総合リハセンターでの診察となります。
 ※2 スポーツ整形外来(火曜日): 初診の場合は予約制(電話予約のみ)です。再診の場合は受付順(受付時間は午後0時30分から4時30分まで)となります。
 ※3 スポーツ整形外来(木曜日): 初診・再診とも予約制となります。初診は電話予約された患者様、再診は医師からの指示のあった患者様の診察となります。

お知らせ (注意事項)

- ①受付時間は午前8時30分から午前11時までです。(受付時間以外の診察はお電話でご相談ください。)
- ②整形外科(水曜日)の受付は原則午前10時までです。
- ③外来リハビリテーションは再診のみです。初診の方はまずリハビリテーション科(水曜日)を受診してください。
- ④スポーツ整形外来は毎週火・木曜日の午後の診察になります。受診については上記※2(火曜日)、※3(木曜日)をご確認ください。
- ⑤筋ジストロフィー外来は毎週月～金曜日に行っています。(予約制)
- ⑥セカンドオピニオン外来は主として脳神経内科の相談になります。(予約制)

交通案内

- JR鴨島駅からタクシーで約7分
- 徳島自動車道「土成インター」から自家用車で約15分



(文責 広報部会)



独立行政法人国立病院機構
徳島病院
 四国神経筋センター

〒776-8585 徳島県吉野川市鴨島町敷地1354
 TEL 0883-24-2161(代表) FAX 0883-24-8661
 ホームページアドレス <https://tokushima.hosp.go.jp/>